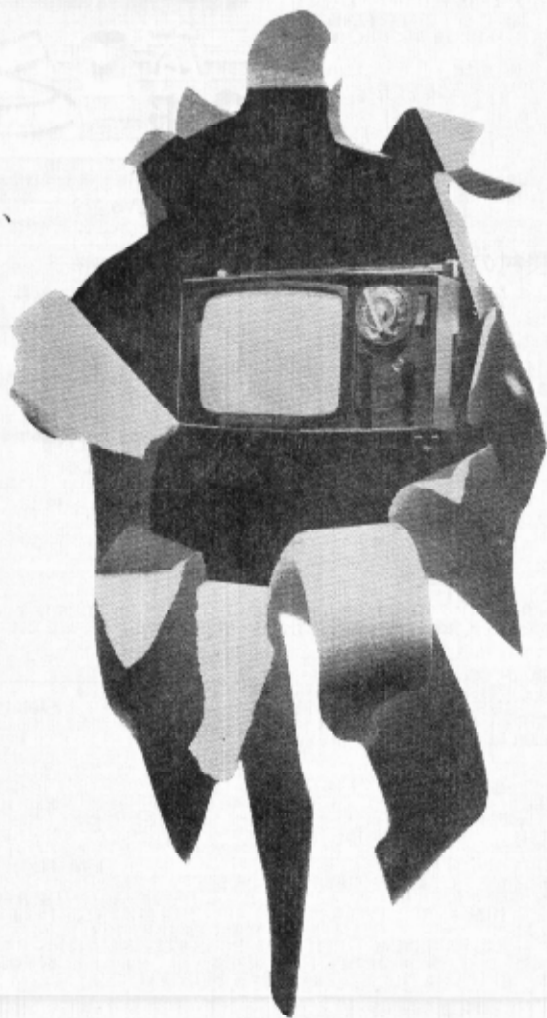


パチンとひねる。とたんにいろんなものが、
 向うから飛んでやってくる。
 まるで魔法のランプのように、
 劇場も、国会も、野球場も、戦禍の村も、台風の町も、
 えらい人もえらくない人も、
 はいただ今と、飛んできて、目の前で教えてくれる。
 テレビ、は茶の間の先生だ。



よい番組をえらんで

テレビを上手に利用して明るい、すめて継続することになりました。家庭をつくるため、「うらじょうろ」（二月末に全町より）10%抽出調査をうけて一日三十分間テレビをみ、高を実施しその結果、継続する「運動」を幸田町では昨年よりす、とがほしいという意見が多かったからです。本年度もこの運動はより一歩すす、特に本年度は

◆よい番組を選んでみる。よいことは実行する。

— 明け暮れを生かす

テレビのプログラム

◆テレビをみてから、あるいはテレビをみながらの話し合いができるようにする。

— テレビみて、

話がはずむ春の夜

の二つの重点目標をたてました。体験文を募集したり、テレビ時刻事業は、だいたい昨年と同様です。変を作成することになっています。が本年新しくわが家のテレビ利用

わが家のチャンネル選び

— お宅ではいかがですか —

テレビの普及とともに、一家に2台目テレビのご家庭もあるようです。しかし、多くのご家庭では、やはり一家に1台が普通。そこで、チャンネル選びも問題になるというものです。以下は、「わが家のチャンネル選び」の一例です…。（2月末全町10%抽出調査の結果から）

■ 時間割型 19.6%

★中学3年の長女、1年の長男、小学校3年の次男、それにおとなる人の6人家族のわが家では、チャンネル問題で末っ子の自分中心主義に閉口。そこで「話し合ってきめよう」ということになり、各自の希望をのべさせ、みんなで内容を検討し、番組を選んで時間割を作りしました。この場合、とくに注意したことは、①こどもの意見を尊重し、納得のうえできめる。②視聴時間は1時間前後とする。③こどもと一緒に見て、必ず話し合う。④視聴させる番組は、あまり限定しない、などでした。このように時間割をつくってからは、お互いに納得し合って、ダイヤルチャンネルのとり合いはなくなりました。

■ 赤エンピツ型 12.4%

★新聞のテレビ番組面の見たいもの、お互いに赤エンピツで小丸印をつけておき、その数の多いチャンネルが優先ということになっています。

■ じゃんけん型 0.8%

★家族は4人。おやじは野球、家内はメロドラマ、長男は音楽で次男は西部劇と、てんでんばらばら。そこでわが家のチャンネル選びは、すべてじゃんけん決定。30分ごとにじゃんけんで権利をもつ。チャンネル権のほしいものは、内容により、じゃんけんで勝ったものから10円～30円で買いとることになっている。

■ こどもまかせ型 10%

★わが家では、だいたいこどもにまかせています。「現代の法検」その他特別番組のようなときは、朝のうちに両親から「今晩のなには見せてくれ」と申し出ておきますと、こどもはあきらめて、宿題などに時間を振りあててお母さんがまわります。その他、よい放送は長男（2才）のツルのひと声で、みんなに見せます。これは的確ですから信じています。

くらしに生かす放送利用

テレビから

くらしに生かすよいヒント

— 植木安雄・入選標語 —

かたい番組ばかり見ていると、肩こるといふものです。だからといって、おたのしみ一辺倒でも、ものたりません。テレビのミ利用々ということはきがるに見ているその番組から、わたくしたちのくらしに役立つなにかのヒントを得ることはないでしょうか。

「くらしの窓」「生活の知恵」「婦人学級」「婦人百科」「茶の間の科学」「中学生時代」「おかあさんの勉強室」などは、くらしに生かすヒントを得るための、恰好の番組です。

「くらしに生かす放送利用」についてご意見をおきかせください。

幸田町教育委員会事務局 有線2028番